



谷中だより

令和2年度・第9号 令和2年12月24日(木)発行

＜教育目標＞

互いに励まし合い
みんなが精いっぱい
力を伸ばす

「密」を考える

2学期終業式 校長講話より

例年、この時期になるとその年の世相を一文字で表す「今年の漢字」が、日本漢字能力検定協会から発表されます。14日に発表された2020年の漢字は「密」でした。これは全国から応募された文字の約13.6%を占め、協会ではこの文字に決めた理由として「～（略）～“3「密」という言葉が提唱され、生活・行動様式が「密」にならないよう国民が意識し続けた。海外でも3C（Crowded place, Close-contact setting, Confined and enclosed spaces）としてメッセージを発信されるまでになった。～（略）～」を挙げています。



今年、日々の学校生活や学校行事等で、「密」の状態を作らないことやマスクの着用、常時換気の徹底等を指導し、例年とは異なった形で教育活動を進めてきました。運動会の応援や競技、学年ごとの合唱発表会（他学年は教室でのLive配信鑑賞）への変更等、今までにない経験の中で教育目標や行事等のねらいをどうすれば達成できるのかを考えて実行してきました。そうした状況の中で、今学期の後半に生徒会が本年度の生徒会スローガン「善道前進」の達成を目指し、「コロナ禍による対策はしっかりと」を呼びかけて実施した「地域奉仕活動」「委員会対抗球技大会」「谷小挨拶運動」「谷中PR動画」の4つの事業は、方法を工夫しながら目的を達成する良い例になったと思います。

「密」という文字は、本来「山」と「宀（ピツ）の文字から成り立っていて、山の木々の生えしげった奥深い所、ひいて、こみあう、くわしいという意味を表すとされていますが、「近い、親しい」などの意味でも使われるそうです。新型コロナウイルスの感染が拡大するようになって約1年が経ちますが、「こみあう」意味での「密」を避けつつ、互いの関係を深めていく＝「親しい」という意味の「密」にしていくことが、これからは求められていきます。その第一歩が先ほど挙げた生徒会の4つの事業であり、2学期の学校行事でした。この経験を生かして、生徒の皆さんが更なる一步を踏み出すことを期待しています。

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2月に予定していた2年生の修学旅行は延期としました。期日や方面については改めて検討し、実施する予定で検討しています。

各部の活躍

吹奏楽 県アンサンブルコンテスト 12月5日(土) 長岡市立劇場
木管八重奏 金賞 『ルーマニア民族舞曲』より I II III V VI

金管打楽器八重奏 銀賞 「騎馬の肖像」



ホールでの練習風景

学習の成果

新潟県いきいきわくわく科学賞2020 優秀賞
税に関する作文 小千谷市長賞
税に関する作文 小千谷地区納税貯蓄組合連合会長賞
税に関する標語 小千谷納税署管内間税会 優秀賞
新潟県人権作文コンテスト 優良賞

*人権意識の高揚のために尽力されたと認められ、小千谷中学校が新潟地方法務局、新潟県人権擁護委員連絡会から感謝状をいただきました。



学校の様子をお伝えします

授業参観 1日(火)

今年度初めての授業参観に200人近くの方から来校していただきました。今年度は、学校での子どもたちの様子を見てもらう機会が少なくなりましたが、参観日でなくてもいつでも来校し子どもの様子を見ていただきたいと思ひます。

人権朝会 2日(水)

11月24日(火)～12月4日(金)は人権強調旬間として、同和問題、人権問題を考える授業等を行いました。その一つとして、2日(水)の全校朝会で、校長より次の話がありました。部落差別、拉致問題、ハンセン病問題、いじめ、インターネットでの誹謗中傷、最近ではコロナに関しての差別等、現在でも様々な人権問題がある。その中で「差別をすることは良くないことだとみんなが知っている」しかし「人は弱いものなので自分は差別をするかもしれない」と考え「差別をしないように努力し行動することが大切」です。

なぎなた授業 1.2年 3日(木)

県教育委員会保健体育課からの派遣授業として、昨年に続き「なぎなた」を体験しました。成り立ちを学んだ後、礼儀作法、実技演習を行いました。生徒からは「指導者の姿勢が美しかった」「普段も目を見て挨拶しようと思った」などの武道授業での学びを体験したことがうかがえました。



おぢやしごと未来塾 1.2年 8日(火)

1年生は市総合体育館メインアリーナでグループに分かれ、市内および近隣の企業、官公庁、県内の大学などのブースを回りました。2年生はサブアリーナで、市内の高校生や企業によるパネルディスカッションにフロアとして参加してきました。今年度は職場体験等地域に出るの活動が制限されてきましたが、地域を知り、将来を考える大切な機会となりました。



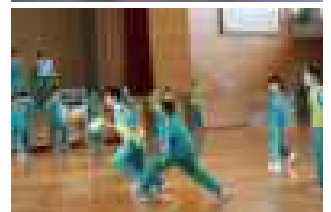
生徒会挨拶運動 7日(月)～9日(水)

生徒会本部、生活委員会が中心になり小学生との交流活動の一つとして挨拶運動を実施しました。生徒たちは小千谷小学校に行き、小学生に「おはようございます！」と元気に優しく声を掛けていました。



生徒会活動球技大会 1日(火)～11日(金)

全校の一体感を高めるために、生徒会が「ポートボール」を企画・実施しました。競技は、専門委員会単位で29チームをつくり、密を避けるためにゴール場所を2か所にする、応援者なし、体育館出入りの時はアルコール消毒をする、ボールを試合ごとに消毒するなど感染対策をしての実施でした。



令和3年度生徒会三役任命式 15日(火)

令和3年度の生徒会長、副会長男・女、応援団長の4名に校長から任命状が渡されました。生徒会選挙を通して、谷中の未来を自分事として考える機会にもなりました。



個別面談・作品展 15日(火)～18日(金)

短い時間ではありましたが、家庭の様子を聞かせていただき、学校での様子について話をさせていただきました。同時に開催した作品展では、生徒の力作や学習での成果を保護者の方々に見ていただきました。

性の指導 3年生 14日(月) 1年生 17日(木)

開業助産師を講師に性に関する授業をしていただきました。1年生は思春期の重要性を理解し、思春期に起こりやすい様々な事柄に対して適切に対応するスキルを学びました。3年生は思春期を大切に過ごすために、10代の予期せぬ妊娠、望まない出産、性感染症、性暴力を避けることについて学びました。

〈小千谷中学校令和3年度の教育について〉保護者からのご意見や生徒の実態を踏まえて来年度の小千谷中学校の教育課程を見直しています。始業時間を5分(8:15登校完了)下校時刻を10分繰り上げることとします。また、部活動休止日や各行事や教育活動について協議しています。